

⑫ 公開特許公報(A)

平1-242379

⑮ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成1年(1989)9月27日

B 66 B 3/00
1/14
3/00

Z-7828-3F

7828-3F

K-7828-3F

審査請求 未請求 請求項の数 7 (全5頁)

⑭ 発明の名称 エレベータ案内操作盤

⑯ 特 願 昭63-69490

⑰ 出 願 昭63(1988)3月25日

⑱ 発 明 者 山 本 裕 茨城県勝田市市毛1070番地 株式会社日立製作所水戸工場内
⑱ 発 明 者 小 松 力 茨城県勝田市市毛1070番地 株式会社日立製作所水戸工場内
⑱ 発 明 者 入 江 俊 二 茨城県勝田市市毛1070番地 株式会社日立製作所水戸工場内
⑲ 出 願 人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
⑳ 代 理 人 弁理士 小川 勝男 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

エレベータ案内操作盤

2. 特許請求の範囲

1. エレベータと、前記エレベータのホールと、前記エレベータの呼び登録用ホール錠と、前記エレベータかご内操作盤を備えたものにおいて、前記ホールに案内操作盤を設け、前記案内操作盤により前記エレベータでサービスするビル内の目的地に関する情報を表示し、かつ前記目的地への前記エレベータの呼び登録を行なうことを特徴とするエレベータ案内操作盤。

2. 特許請求の範囲第1項において、

前記案内操作盤として、タッチパネル式ディスプレイを用いたことを特徴とするエレベータ案内操作盤。

3. 特許請求の範囲第1項において、

前記案内操作盤に、暗号による識別手段を設けたことを特徴とするエレベータ案内操作盤。

4. 特許請求の範囲第1項において、

前記案内操作盤に、ビル内目的地に関する情報を表示し、ビル内利用者がエレベータの呼び登録を行なうか否かを判断し、呼び登録を行なう様にしたことを特徴とするエレベータ案内操作盤。

5. 特許請求の範囲第1項において、

ビル内利用者が前記案内操作盤を操作し、所定時間経過した後に、エレベータの呼び登録を行なう様にしたことを特徴とするエレベータ案内操作盤。

6. 特許請求の範囲第5項において、

複数の所定時間を設定できる様にしたことを特徴とするエレベータ案内操作盤。

7. 特許請求の範囲第1項において、

ビル内の目的地に関する情報を表示し、音声による案内を行ない、前記目的地への前記エレベータの呼び登録を行なうことを特徴とするエレベータ案内操作盤。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明はビル案内表示及びホール呼び登録を行なう装置に係り、特に、エレベータ利用客が行先地へ行くのに好適な情報をサービスし、かつ、呼び登録を行うエレベータ案内操作盤に関する。

〔従来の技術〕

従来、実開昭60-72455号公報に記載のように、階床側で呼び登録する行先釦の横に、その釦に該当する階を案内する案内板は知られている。

このようにビル等に設置される従来の案内板は、行先地へ行く手段に関する情報等は表示されておらず、行先地に対応する階床が表示されているにすぎなかった。

〔発明が解決しようとする課題〕

上記従来技術は、複数のエレベータと複数のホールがあり、不停止階を設けて階層別に急行サービスするような大規模高層ビルに設置されるエレベータを利用する場合に、行先地へ行くためのエレベータ、ホールの案内がなく、どのホールからどのエレベータを利用すればよいかわからないという問題があった。

すると、行先階へのエレベータを呼び登録することにより達成される。

つまり、ビル案内表示装置を、行先地の場所、行く方法、その地行先地に関する情報案内装置、さらに、行先地へ行くエレベータの呼び登録装置として利用できるようにすることにより達成される。

〔作用〕

行先地へ行くために利用するホール、エレベータの案内をし、行先地の階床、場所を表示し、利用者が行先地へ行く場合に一定時間後に行先地のある階床へ呼び登録を行うので、利用者は、操作盤の案内表示に従って指示されたホールへ行き、呼び登録されている指示されたエレベータに乗って、行先地の案内階で降りればよく、利用者は初めての行先地でも迷うことはない。

〔実施例〕

以下、発明の実施例を図面を用いて説明する。

第1図は本発明の特徴をもつとも良く表わしている全体ブロック図、第2図はエレベータ制御シ

又、行先階の呼び登録をする時、確かに、その階に行先階があつたとしても、乗込もうとするホールでは行先地に関する情報がわからず、目的とする行先階へ到着しても休業であつた等、無駄足を踏むことがあつた。

さらに、防犯やプライバシーの保護の点について考慮がされておらず、誰でも行先地に行くことができるという問題があつた。

本発明の目的は、利用者が、不案内な先行地へ容易に、効率よく到着することができ、利用者へのサービスを向上し、また、利用者を特定の人間に限定することができることによりプライバシーを保護し犯罪を防ぐことにある。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的は、ビル案内表示装置の行先地表示部を押すと、行先地の場所に関する情報、その行先地へ行くために利用するエレベータ、ホールを案内する情報等行先地へ行くのに必要な情報を表示した後、利用者が行く場合の入力手段を行い、特定の暗号を入力し、暗号識別手段が正しいと判断

システムのブロック図である。

エレベータ操作盤、ホール釦がエレベータに近接した位置にある従来のエレベータ制御システムの各エレベータの制御盤内の入出力装置に、各エレベータ、ホールを統括し、呼び登録を行うことができるエレベータ案内操作盤が設けられている。この案内操作盤は、ビル内の利用者の目的地に関する情報を表示し、エレベータの行先階への呼び登録を行う機能を持つ、つまり、案内操作盤4の機能は、エレベータ操作盤2、ホール釦3とビル内案内表示装置の機能をかね備えたものである。

第3図は、エレベータ案内操作盤の全体正面図、第4図は第3図の行先地各表示部分7の拡大図、第5図と第6図は、第2図の行先地名部分7を押した後変化した表示面画、第8図はビル内のエレベータ案内操作盤の位置を示す図である。

今、第5図に示すように、複数のホール、エレベータに近接した位置にあるエレベータ案内操作盤6において、利用者が表示画面上の行先地名表示部分7を押すと、その部分、又は、画面全体の

表示が、第5図の様に行先地に関する情報表示に変化する。

この情報案内は、行先地がある階床の表示やその階の地図、道順、また、行先地の営業時間案内や休業案内等の行先地に関するものである。

さらに、第8図の様に複数のホール、エレベータがある建物では、行先地へ行く場合に利用するエレベータ番号12と、そのエレベータがあるホール番号11を第6図のように表示し、利用者が行先地へ到着するまでの道案内をする。

また、その他行先地の広告宣伝等も表示することができる。

更に、この案内操作盤の近接した位置に音声合成装置を設置し、表示内容を音声で案内することもできる。

上記のような行先地に関する情報を案内した後利用者にいくか行かないかを判断させる第7図の様な表示を出す。

ここで利用者が行先地へ行く判断をした場合の入力が行われると、一定時間経過後、案内された

番号のエレベータが呼び登録される。

この一定時間というのは、利用者が行くという判断をした場合の入力を行ってから、案内されたエレベータのあるホールへ到着するまでの時間を考えて設定してある。また、お年寄や身体の不自由な人専用の前記設定時間より長い設定時間を選択できる様になつていたので、利用者は無理なくエレベータを利用することができる。

また、マンション等特定の利用者だけが行先地に到着できるようにする場合、第9図15のように暗号入力・識別手段を設けて、正しい入力があれば、一定時間後に、前期で案内したエレベータの呼び登録を行う。

本発明は、第1図に示す様に、従来のエレベータシステムにエレベータ案内操作盤を追加した構成になつていたので、従来通り、エレベータに近接する位置にあるエレベータ操作盤やホール鉤も利用することができる。

第10図に、一連の案内表示、制御手段の一例をフローチャートで示す。

(発明の効果)

本発明によれば、行先に不案内な利用者でも容易に、効率よく行先地に到着できる。

また、暗号識別手段により特定の利用者に限って案内できるのでプライバシーの保護、防犯の効果がある。

4. 図面の簡単な説明

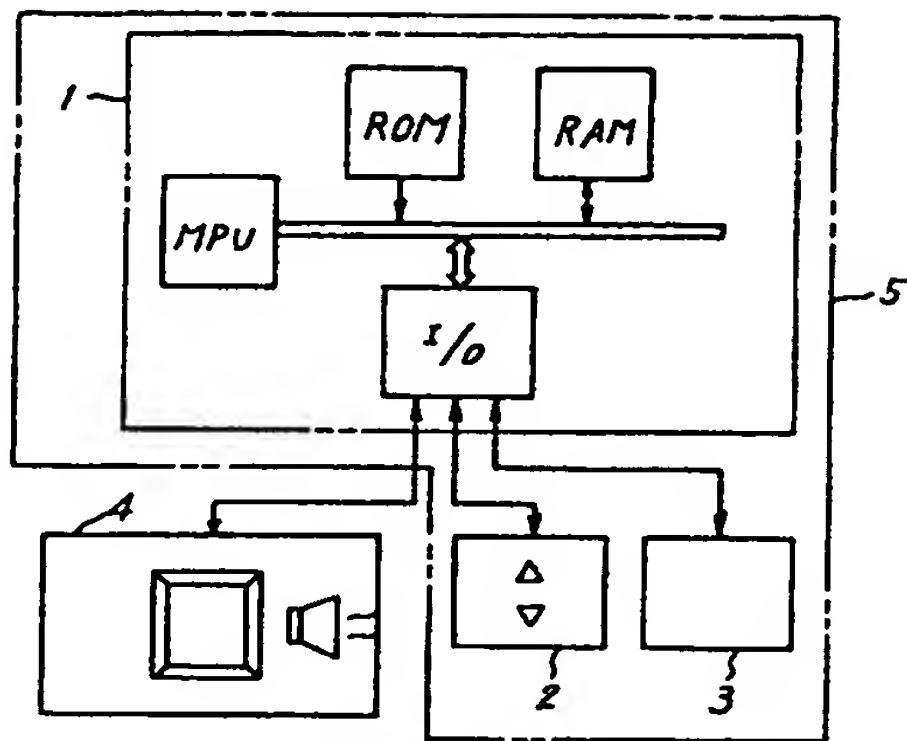
第1図は本発明の一実施例の全体ブロック図、第2図はエレベータ制御システムのブロック図、第3図はエレベータ案内操作盤の全体正面図、第4図は行先地表示部の拡大図、第5図、第6図は行先地に関する情報表示図、第7図は利用者の判断入力手段の表示図、第8図はエレベータ案内操作盤のビル内の位置を示す図、第9図はエレベータ案内操作盤の機能ブロック図、第10図は、行先地名画面からエレベータの呼び登録を行うまでの一連の制御方法を示したフローチャートである。

1…エレベータ制御盤、2…エレベータ操作盤、3…ホール鉤、4…エレベータ案内操作盤、5、51～5N…エレベータ制御システム、6…案内

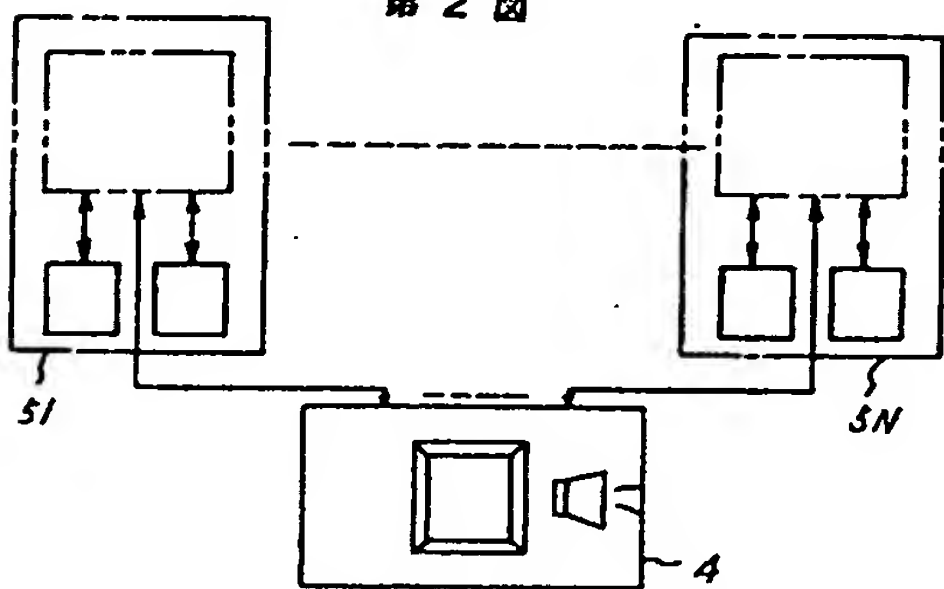
表示画面、7…行先地名表示部、8…行先地階床案内表示、9…行先地へ行く情報表示、10…判断入力表示、11…ホール番号、12…エレベータ番号、13…情報表示手段、14…利用者の判断識別手段、15…暗号入力識別手段、16…呼び登録手段。

代理人 弁理士 小川勝男

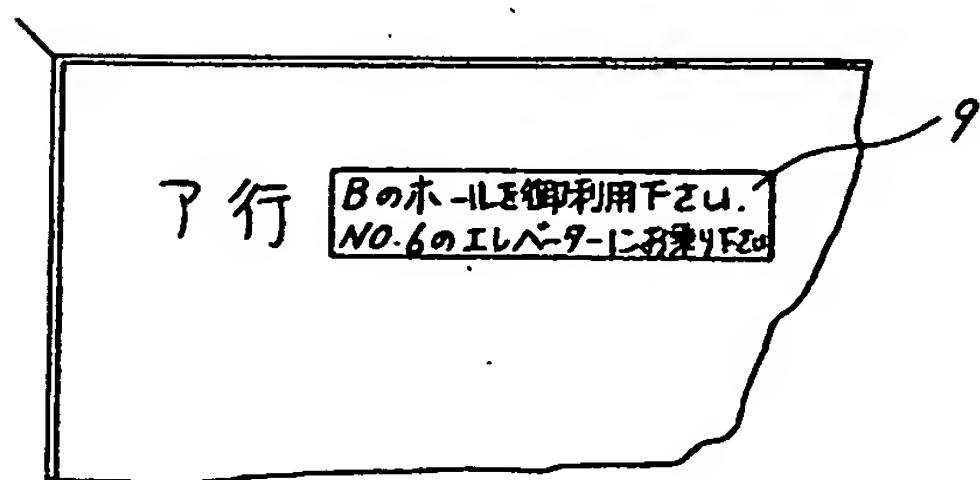
第 1 図



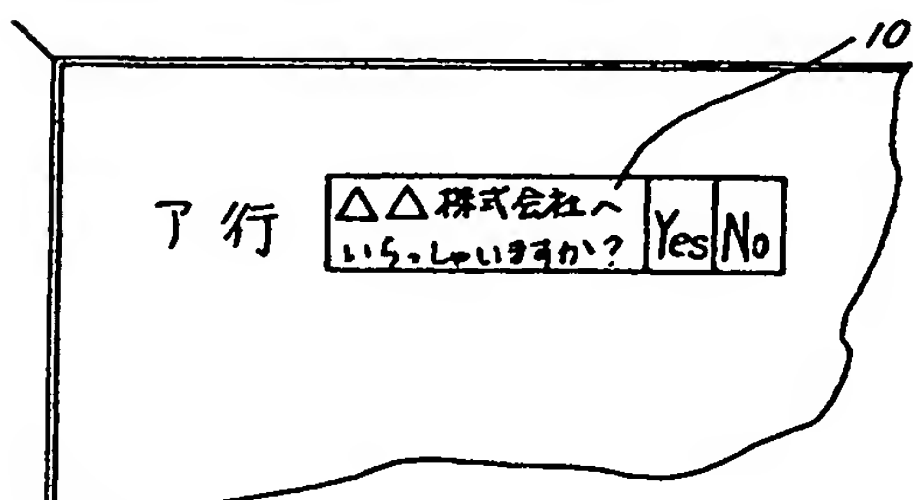
第 2 図



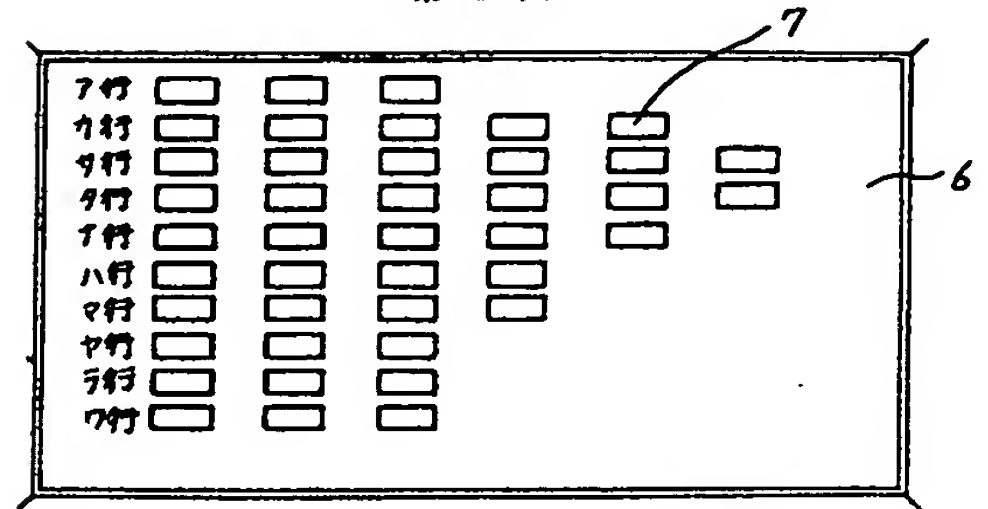
第 6 図



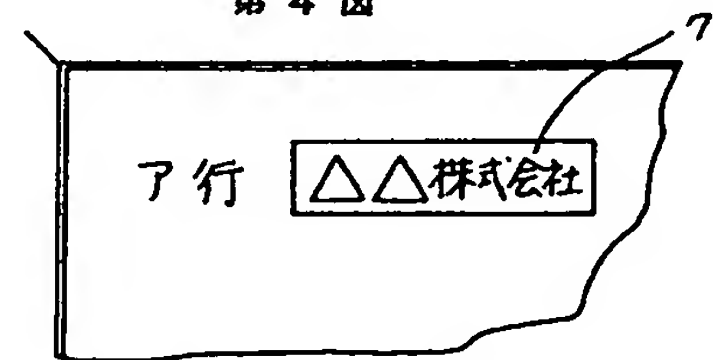
第 7 図



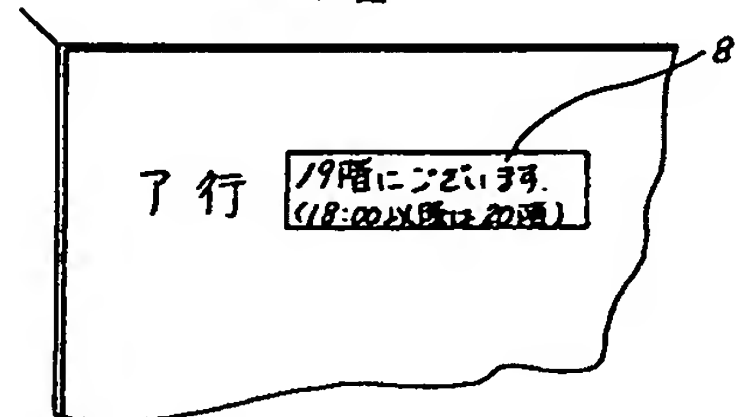
第 3 図



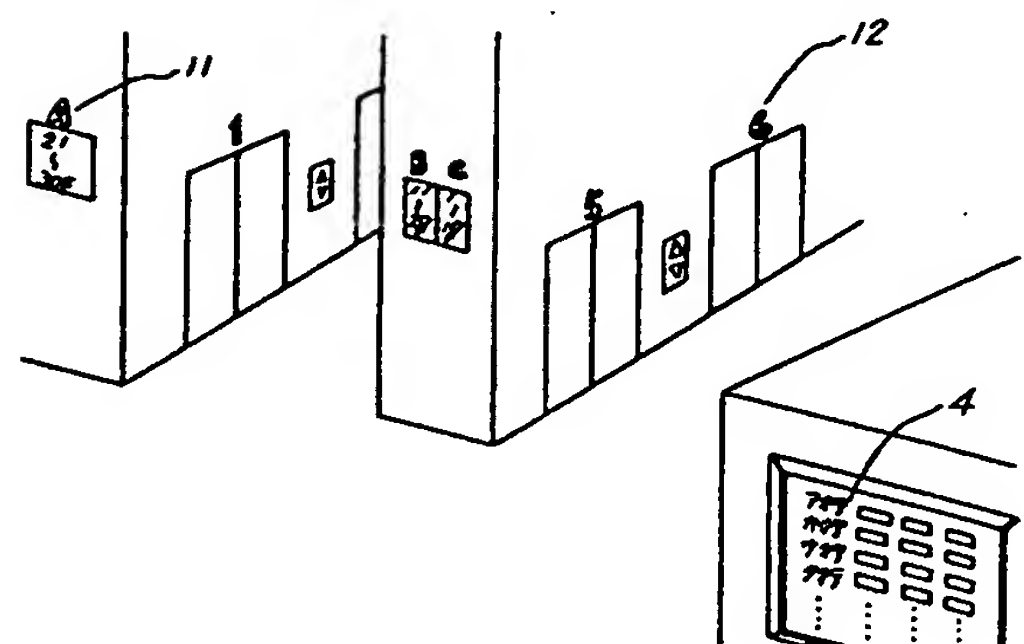
第 4 図



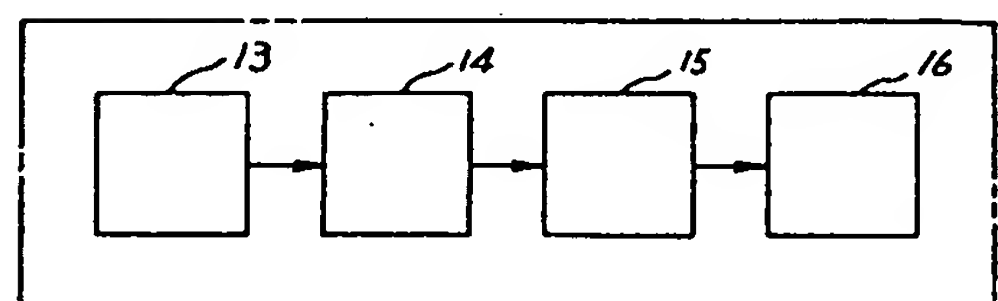
第 5 図



第 8 図



第 9 図



第 10 図

